

ると、本当にスムーズに再稼働できればこんなにも反対はなかったと思いますけれども、次々と不備が出て、不安を大きくするというようなことが現状ですので、ぜひ慎重にと、本当に。

それと、この柏崎刈羽原発は東京電力ですので、関東のほうに電気、東北、私たちのところには来ない。来ないから、ではおまえたち駄目だということではないんですけども、電力は必要ですけども、安全にということが担保できなければ、再稼働というのはちょっとお待ちくださいと、もう少し安全をちゃんと担保しろということ強く言いたいですね。もちろん私たちは原発反対ですのであれですけど、安全というものはしっかりと担保していただきたいということですね。

そして、先ほど市長がおっしゃいましたけども、山形県でどう考えるかと、隣の県ですのでね。だから県議会なんかにも動いてほしいと、働きかけが欲しいと。私たちも頑張って県議会に働きかけますので、ぜひ各自治体、小国町、飯豊町、長井市、県議会にも働きかけをしていただいて、県にも、どういうふうに安全が担保されるのかというようなことを、ぜひお願いしたいなと思っております。そして本当に住民の暮らし、命というものをまず優先的に考えていただいて行動してほしいなと思っております。

いろいろ答弁いただきましたので、また議事録などを見させていただいて、市長のお考えを確認したいと思っております。よろしくお願ひいたします。

質問を終わります。

鈴木英則議員の質問

○内谷邦彦議長 次に、順位7番、議席番号2番、鈴木英則議員。

(2番鈴木英則議員登壇)

○2番 鈴木英則議員 公明党の鈴木英則でございます。

今期の冬の山形県は地域差が大きく、平野部では積雪が少ない一方、山間部では平年並みか多めの積雪となって、長井市周辺は積雪が20センチ程度と少雪傾向でしたが、月山姥沢では568センチメートル、新庄周辺でも45センチメートルと、山地ではしっかりと雪が積もっております。

一方、長井でも1月には降雪合計275センチメートル、最深積雪21センチメートルを記録した日もあり、短期間にまとまって降る局地的な降雪が特徴でした。

全体として温暖傾向の影響で、低地の積雪は少なく、山沿いを中心の降雪となった冬でしたが、降雪時には深夜から、除雪車の出動されている関係者の方々には本当に感謝しております。

今回は白つつじ公園とあやめ公園の駐車場についての2点と、ながいコインについての1点の、計3点について質問をさせていただきます。

まず、白つつじ公園とあやめ公園の駐車場についてですが、白つつじ公園の多目的広場となっている臨時駐車場について、要所に細いロープがあり、停車しやすいように配慮されております。しかし、さらに視認性の高い目立つロープにするなどして、駐車しやすいようにはできないでしょうか。

これは、市民文化会館等で大きな行事があると、またタスとかでも、行事があると、ここに駐車場の係にあった方からもそんなことを言われましたし、令和6年6月にも、駐車場の白線のラインを引けないかとの一般質問をした際に、駐車場ではないので白線は引けないとの回答でしたが、何かしらの誘導しやすい、駐車しやすい方法がないかということでの質問であります。

2点目としまして、あやめ公園の駐車場について、観光バスなどが優先的に近い駐車場スペ

ースを利用しておりますけども、高齢の一般来園者にも配慮した駐車スペースを拡大できないでしょうか。

これは、あやめ公園を来園してくださる高齢者からの声もあり、それでも期間中に何度も来園してくださる方々のためにも、さらに駐車場のスペースの拡大を提案するものであります。観光文化交流課長に答弁をお願いします。

次に、ながいコインについてであります。

ながいコインは、給付のたびにコインの製作準備や郵送の手間が生じておりますが、恒久的なカードをあらかじめ市民の皆様の手配し、給付時にオンラインで一斉に付与するようにはできないでしょうか。

これは、令和5年10月に長野県の岡谷市に行政視察で、Okaya Payの仕組みを視察してきて、この仕組みをながいコインにも適用できれば、今まで給付にかかる手間や郵送費、また時間の削減にもつながると思いますので質問させていただきました。

給付は、令和5年、マイナンバーカード普及促進、同年、物価高騰対策第一弾、令和6年に第二弾、令和7年に第三弾、そして今年の令和8年に第四弾と、ほぼ毎年実施されております。今後の給付状況も考慮しなければならないとは思いますが、オンラインでの一括付与のお考えをお聞かせいただきたいと思っております。総合政策課長に回答をお願いします。

以上、壇上からの質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。

○内谷邦彦議長 渋谷和志観光文化交流課長。

○渋谷和志観光文化交流課長 まず1点目でございますが、白つつじ公園の多目的広場を駐車場として利用する場合については、先ほどございましたとおり、令和6年6月定例会においても答弁させていただきましたが、再度それに関連したご質問をいただきましたので、お答え申し上げます。

松ヶ池公園、白つつじ公園の多目的広場は、公園内の広場として、基本的に誰でも自由に利用できることを原則としておりますが、個人、団体、企業の皆さんなどが駐車場として占有して使用する場合は、市に事前に申請していただきまして、有料または減免の許可を受けて使用していただいております。

その際、市のほうで駐車場として要所にロープを張るなどの対応はしておりませんので、許可を受けられた方が、駐車される方のためにそのような対応をしていただいたのではないかと存じます。

また、視認性の高いロープを張ってはどうかということなんですけども、駐車場として利用される方には区画線等がないため大変ご不便をおかけしていることは十分承知をしておりますけれども、先ほどの、駐車場でない広場という趣旨をご理解の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、2点目のご質問でございますけれども、あやめ公園の正面、北駐車場につきましては、祭り期間中は普通乗用車78台、大型バス10台、身体障がい者用3台を駐車することができます。このほか、河川敷臨時駐車場に約150台、東駐車場、總宮神社さんの北側になりますが48台、高台駐車場として横町公民館前に5台、現在駐車することができます。

障がい者用駐車区画、これは車椅子使用者用駐車施設といいます。国際シンボルマークとして、ご存じのとおり車椅子のマークがついている区画になります。これについては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、いわゆるバリアフリー法と言われているものにおきまして、車椅子利用者だけでなく、一定の要件を満たす障がい者等、この障がい者等というのが身体に障がいをお持ちの方、要介護者、知的障がい者、難病患者、精神障がい者、けがをされている方または病気の方、妊産婦という

ことが対象になっております。それぞれの方が安全に乗り降りできるように、施設の出入口近くに、幅3.5メートル以上確保された駐車区画を設置することとされております。

山形県でも、身体障がい者等用駐車施設利用証制度として対象の方に利用証を交付しております。まして、本市、長井市においては市役所、置賜生涯学習プラザ、「くるんと」、保健センター、市民文化会館、タスパークホテル、給食共同調理場、伊佐沢コミセン、長井病院等が登録されております。あやめ公園の北駐車場におきましても、法令に基づきまして、北出入口近くのトイレ脇に3台分確保しているところがございます。

各地方自治体では、対象者に公共施設、商業施設等の駐車区画を利用する際の利用証を交付しております。適正利用を促すパーキング・パーミット制度を実施しております。この制度に基づき、各施設において優先駐車区画、いわゆる思いやり駐車場と表示されていたり優先駐車区画と表示されているものを設置する施設が増えております。

なお、民間の施設によりましては、優先駐車区画に高齢運転者標識、高齢者マークが表示されているようなところもあるようですけれども、自動車に高齢者マークを表示していることをもって優先区画に駐車できるものではないということですので注意が必要となります。

議員からご提案のありました高齢者向けの駐車スペースというのは、この優先駐車区画を指すものだと思いますが、あやめ公園に設置する場合には、障がい者用駐車区画と同様に出入口付近に設置する必要がございますし、普通乗用車や大型バスの駐車区画との兼ね合いも必要となってきます。これらを踏まえまして、あやめ公園に来園される方の利便性の向上及び利用ニーズに対応するため、国のバリアフリー法ガイドライン等に基づき、今後、設置できるように

検討してまいります。

○内谷邦彦議長 吉川幸代総合政策課長。

○吉川幸代総合政策課長 私には、問2、(1)ながいコインについてご質問いただいておりますので、お答えいたします。

議員ご質問のながいコインのカードにつきましては、現在、有効期限や金額に応じまして異なるコードを発行しております。カードタイプに印刷されているQRコードにつきましても1枚ごとに異なるコードとなっております。議員からご提案のあった恒久的なカードに対するオンライン配布につきましては対応ができません。これは、ながいコインに限らず、デジタル通貨全般に言える仕組みと認識しております。それぞれが異なるコードの管理となっているものでございます。

ながいコインにつきましては、ご質問のとおり、今回の物価高騰対策事業のように、全市民の皆様に対し配布をさせていただく場合には、全世帯にお届けが完了するまで一定の配送時間を要しているのは事実となっております。例えばでございますが、ながいコインのオンラインでの配布ということと言いますと、一定の要件を満たす方が対象とはなりますが、オンラインでの配布は可能となります。

まず要件の1つ目は、ながいコインアプリをスマートフォンに登録をして利用していること、要件の2つ目は、同じくスマートフォンにポケットサインアプリを導入し、マイナンバーカードの連携を済ませていることです。実際の手続の大まかな流れといたしましては、初めにながいコインのオンライン配布を希望する方がポケットサインアプリを通じまして申込みを行い、申込みを受け付けた後、市側でながいコインの配布対象者であることを確認させていただきます。次に、ポケットサインアプリを通じましてながいコインのチャージが可能になった旨のご案内をさせていただきます。最後に、ポケット

サインアプリでチャージのご案内を受けた方ご自身の操作によりまして、スマートフォンにながいコインをチャージしていただくという流れになります。

今回の物価高騰対策に係るながいコインの配布では、オンラインでの配布手法についても検討したところではございますが、仕組みの周知であるとか手続の説明等、初回の導入といたしましてはかなりの期間が必要となるため、このたびは郵送による一斉配布といたしました。

ただ、このたびのながいコインやおこめ券の配布といたしました物価高騰対策の支援事業につきましては、県内でもいち早く支援を届けるため、昨年12月の臨時議会でお認めをいただき、他自治体では送付自体が4月以降、また、遅いところでは7月以降となる自治体もある中で、県内最速でのお届けとなったことにつきましては、お認めをいただければと存じます。

なお、さきに申し上げましたとおり、スマートフォンを利用したオンライン配布自体は実現可能ですので、全市民一律すぐには難しい状況もございますが、今後、より多くの方にご利用いただけますよう検討してまいります。

○内谷邦彦議長 2番、鈴木英則議員。

○2番 鈴木英則議員 ご答弁ありがとうございました。

白つつじ公園の多目的広場についての件については、私のちょっと、確かに利用者のほうでやっているものということで勘違いをしたところもあるようですが、ただ、実際に今後長く、駐車場が手狭であるというのが実情ですので、何かしらそういった配慮をされればいいのかと思います。

ただ、実際に今度、難しい側面もあるようですので、この件については、また時期を見て考えさせていただきたいと思います。

また、あやめ公園の駐車場についても、国のバリアフリー法に基づいて拡大のほうを、もう

ちょっと増やしていただくようなことでお願いできればと思います。

あと、ながいコインについてのオンラインのほうの配布についてのご説明をいただきましてありがとうございます。

スマホでアプリを使っている方を対象にオンライン配布が可能ということでもありますけれども、本来は全員がということで、恒久的なカードというようなことでイメージしたわけでもありますけれども、ただ、実際に今、生活の給付で、ありがたいのは、子供を持つ親御さん世代とか、本当にたくさん、世代的には高齢者だけでなく、あるわけなので、そういったスマホだけ、スマホ対応の部分と、それ以外の部分と二重的に、手間にはなるとは思いますけれども、ぜひオンラインのほうの配布も検討して、実現してもらえるようお願いするものであります。

私のほうからは以上です。ありがとうございました。

○内谷邦彦議長 次に、個人質問を行います。

渡部正之議員の質問

○内谷邦彦議長 順位8番、議席番号7番、渡部正之議員。

(7番渡部正之議員登壇)

○7番 渡部正之議員 清和長井の渡部正之です。

今の世界情勢は、残念ながら争いの絶えない厳しい現実と直面しております。遠く離れた地で起きている出来事であっても、それは決して他人事ではなく、私たちの日常や未来と地続きであると感じずにはられません。身近な人を大切にする、多様な価値観を認め合うこと、そうした一人一人の小さな歩みが大きな平和への礎となると信じております。市民の皆様の幸せと世界の平和を願います。